

(仮称) 秋田市水防センター活用構想

令和5年3月

秋 田 市

1. 背景・目的、テーマ、検討対象

1-1. 背景・目的

令和4年3月25日、秋田地区河川防災ステーションの計画が新たに決定された。防災ステーションとは、洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々の交流や憩いの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設である。

秋田地区河川防災ステーションは、平成29年7月洪水等で浸水被害のあった秋田県秋田市を含めた雄物川の洪水被害を最小限とするため、洪水時等の緊急対応を行う活動拠点として国土交通省と秋田市が行う計画であり、令和4年度より整備に向けた詳細な設計に着手することとなった。

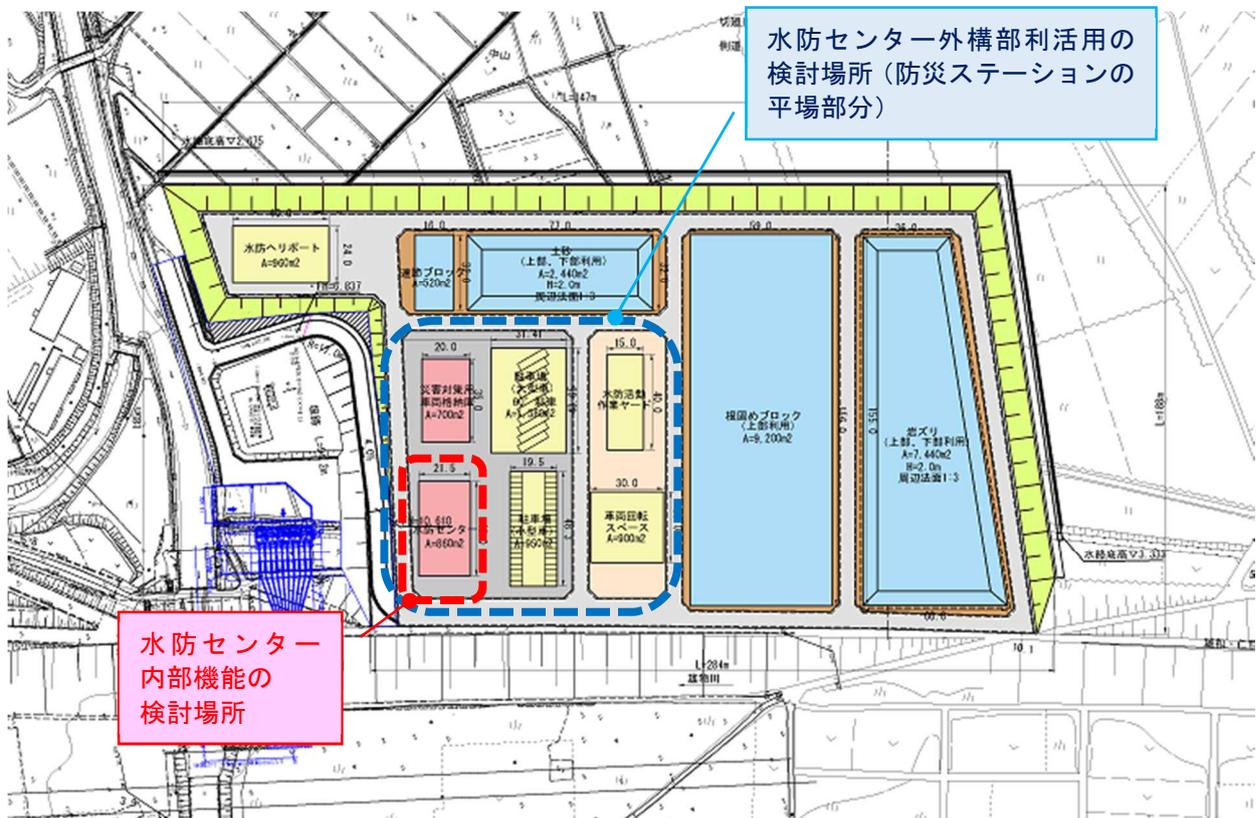
これを受けて（仮称）秋田市水防センター活用構想は、防災ステーションのうち、秋田市が整備する水防センター及び駐車場など平場部分の平常時（訓練時含む）の利活用イメージを検討するとともに、利活用イメージを実現するための水防センター及び防災ステーション平場部分の平面プラン案を立案することを目的とする。

1-2. テーマ

本構想のテーマは、災害時に加え平常時及び訓練時の利用の検討とする。

1-3. 検討対象

本構想の検討対象は、秋田地区河川防災ステーションのうち、水防センター及び駐車場などの平場部分とする。



※（防災ステーションの配置計画は暫定版（検討中（R3年度末）のもの）

図1 検討対象区域

2. 必要な機能

防災ステーションの平場を含む水防センターへの要望については、町内会（令和4年9月12、26日）、消防団（令和4年9月14、29日）を対象としたワークショップで得られた意見やアイデアを整理する。

水防センター内部 への要望

- 消防団が使用する会議室（100人程度規模）
- 消防団が使用する物資・資機材の積み込み・荷下ろしを屋根の下で行えるような車庫
- 消防団が災害時および訓練時に使用するシャワー室、ロッカー付きの更衣室（男女）、トイレ（多目的トイレ含み）、仮眠用和室、各河川の状況確認用モニター、筋トレルームなど
- 消防団の活動紹介用スペース
- 屋外から利用できるトイレ
- 一般貸出として、防災に関する学習（図書、資料等配置）スペース・展示スペース

駐車場などの平場部分 への要望

<基本事項>

- 敷地については、駐車場等を分割せず、一体的に活用するため、全面アスファルト舗装とし、路面標示により各スペースを区分
- #### <平常時（市民に一般開放）>

- 様々なスポーツ活動（野球、テニス、サッカー、バスケットボール、スケートボードなど）を行うスペース
- 約100mの壁面（壁当て用）およびスケートボード用設備（ストリート）

<訓練時>

- 消防団の消防操法訓練および改良積み土のう工法等の訓練

<発災時>

- ポンプ車等大型車庫の回転スペースや消防団の集合（駐車場）、活動場所
- 堤防決壊時は、壁面等を堤防修復用殻としての活用

参考：壁打ちが禁止されている市内運動施設の壁面の例（八橋運動公園・ソユースタジアム）



3. コンセプト

防災ステーションの平場部分を含む水防センターは、秋田市が水防活動を行うための施設として、平時から水防訓練や必要機材の備蓄基地として、発災時には水防活動の司令塔、水防団の待機場所としての役割を果たす。

あわせて、地域づくりの活動拠点として、市民ニーズも大きいスポーツの練習場、地域住民のコミュニティ活動の場などとしての活用を図るものとする。

あきたの水防と地域の市民活動を支える拠点づくり



防災訓練



防災訓練



地域のコミュニティ活動



壁打ちテニス

4. 整備方針

4-1. 防災ステーション配置方針

水防センター及び防災ステーションの駐車場などは、一体的に配置する。

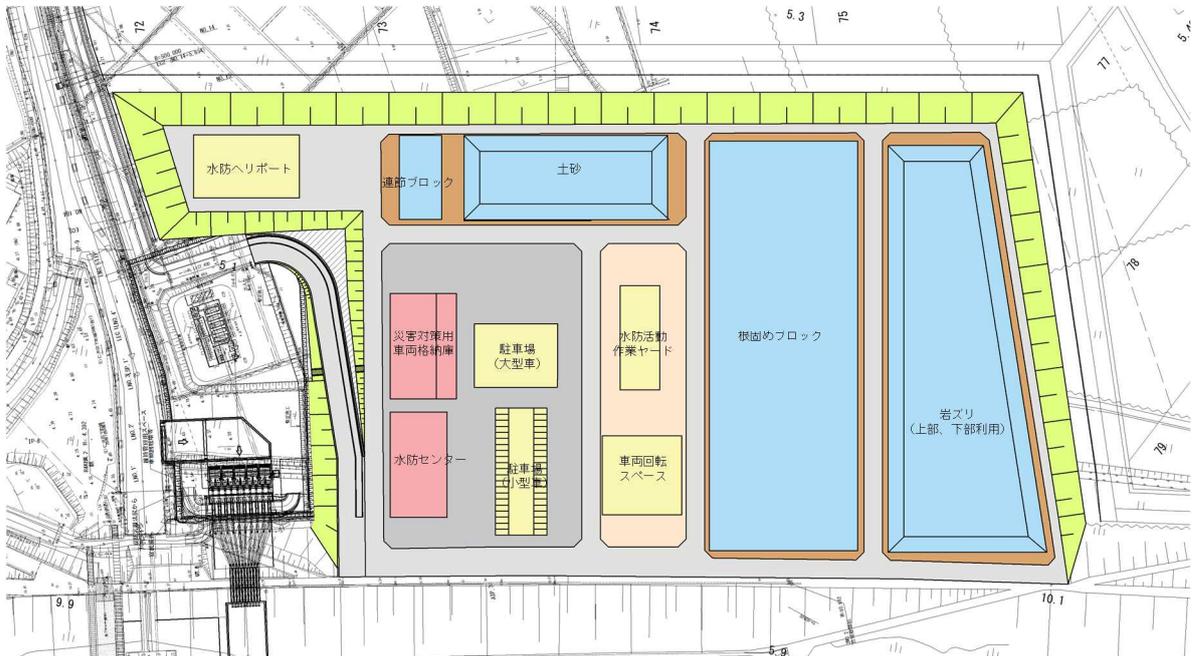


図 2 防災ステーション配置計画 (案)

4-2. 水防センター平面プラン

水防センターについては、必要な機能を精査するため、現時点では、国が策定した「秋田地区河川防災ステーション計画書」における平面プランを基本とし、令和5年度に本市が策定する基本計画において、今回収集した住民等意見の反映等に関する検討を行う。

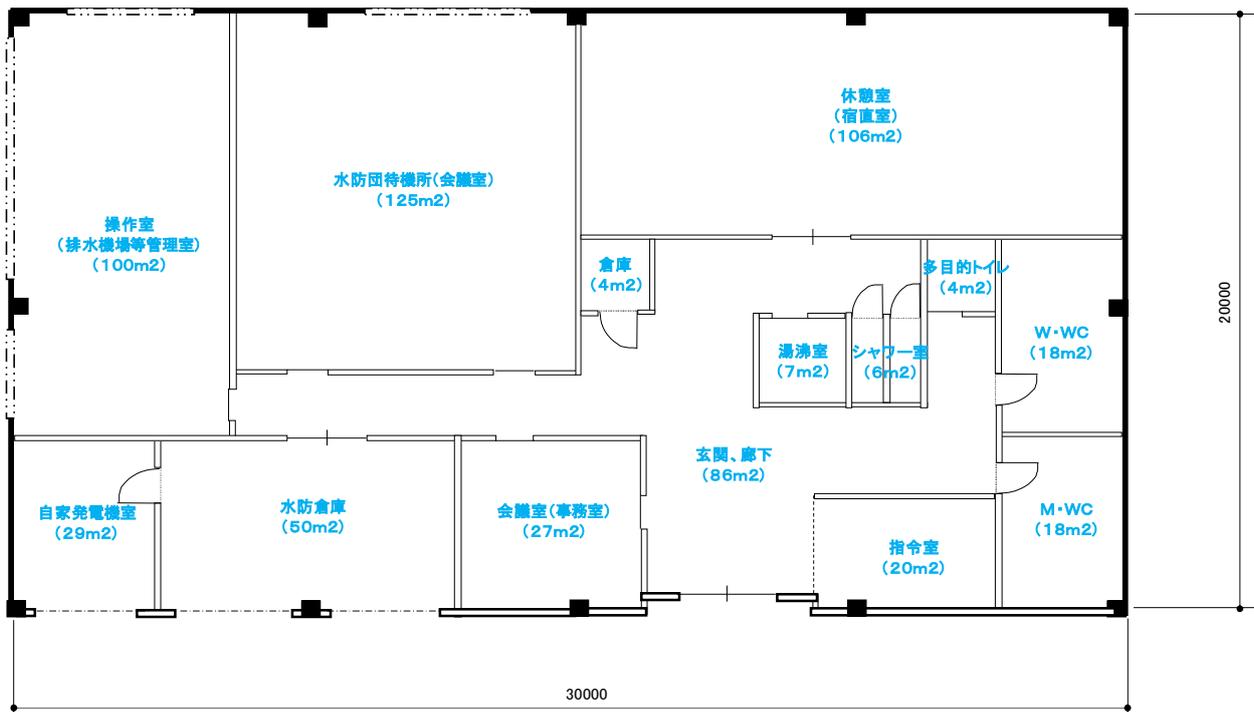


図 3 水防センター・「秋田地区河川防災ステーション計画書」における平面プラン (案)

5. 利活用イメージ

5-1. 水防センター内部

水防センター内部について、発災時は、水防活動の拠点として水防活動に必要な情報収集を行う司令室、水防団の会議室および待機場所等として活用する。

平常時は、市民の防災学習やコミュニティ活動の場として活用するほか、屋外イベントや散策者が利用できる屋外トイレの設置を検討する。

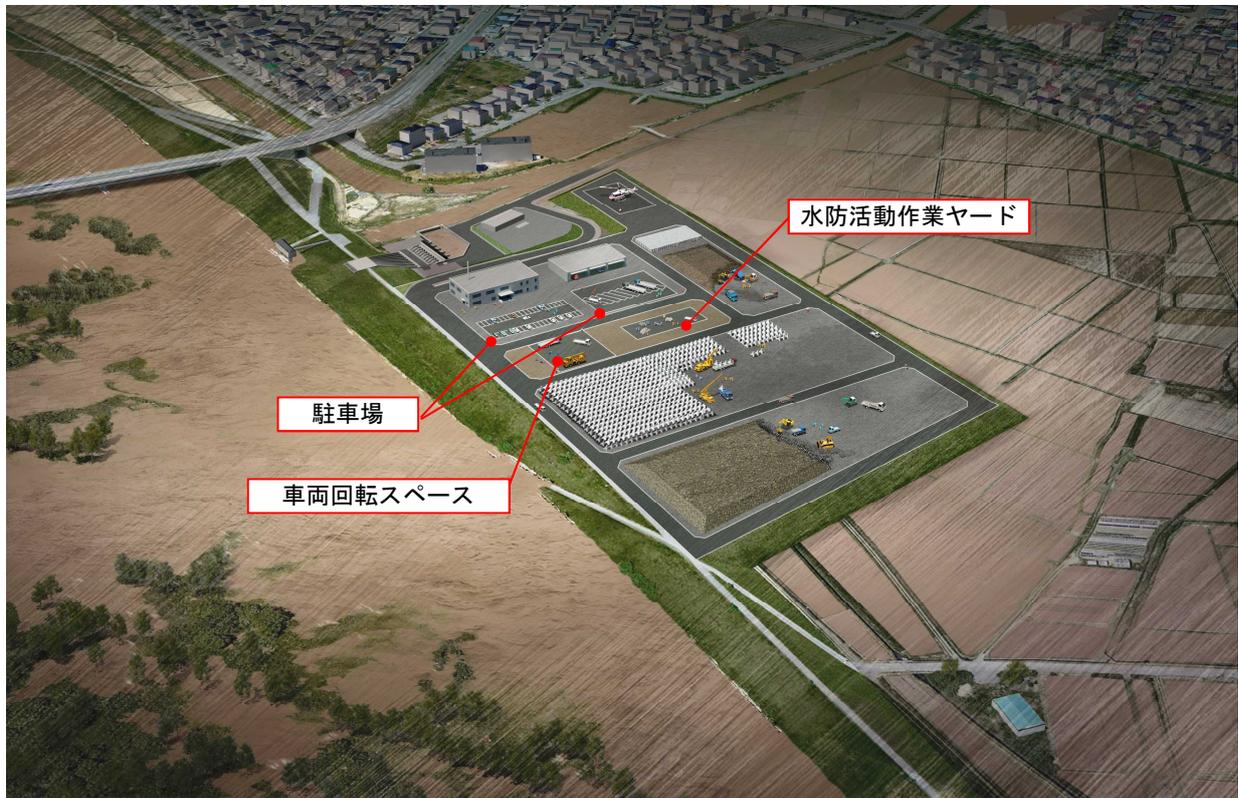
		
<p>司令室</p> <p>発災時：水防活動に必要な情報を収集し現場を指揮する場所</p> <p>平常時：－</p>	<p>会議室</p> <p>発災時：水防団の待機場所</p> <p>平常時：防災訓練時の会議室／その他日は市民に一般開放</p>	<p>水防倉庫</p> <p>発災時：水防活動に必要な資機材を取り出す場所</p> <p>平常時：水防活動に必要な資機材を備蓄する場所</p>

	
<p>防災学習スペース（玄関・会議室）</p> <p>発災時：－</p> <p>平常時：ロビー等の一角に防災学習関連の資料、図書を設置</p>	<p>外から利用できるトイレ【追加検討】</p> <p>発災時：－</p> <p>平常時：堤防天端を利用するサイクリスト、散策者が利用できるトイレ</p>

5-2. 防災ステーション平場部分

(1) 発災時

平場スペースについて、発災時は、水防活動の拠点として小型車、大型車の駐車場、大型車の回転スペース、及び、水防活動のためのヤードとして活用する。



(2) 平常時



① 訓練時

平場スペースについて、訓練時は、水防訓練の場として活用する。



防ステ整備計画書

消防訓練

訓練時: 平場を活用した防災訓練を行う場所



長久手市

消防訓練

訓練時: 照明を確保し夜間訓練を行う場所

②平常時

平場スペースについて、平常時は、スケートボードや各種スポーツの練習場、サイクリストや散策者の休憩場所として活用する。



横手市赤坂総合公園スケートパーク

スケートボード（地点番号：①）

平常時：スケートボードの練習（セクションは可動式）



個人ブログ <https://ameblo.jp/otomoharu2/entry-12518474938.html>
（秋田県立中央公園）

壁打ち（設置場所要検討）

平常時：壁を使用したテニスなどの練習



3×3（地点番号：②）

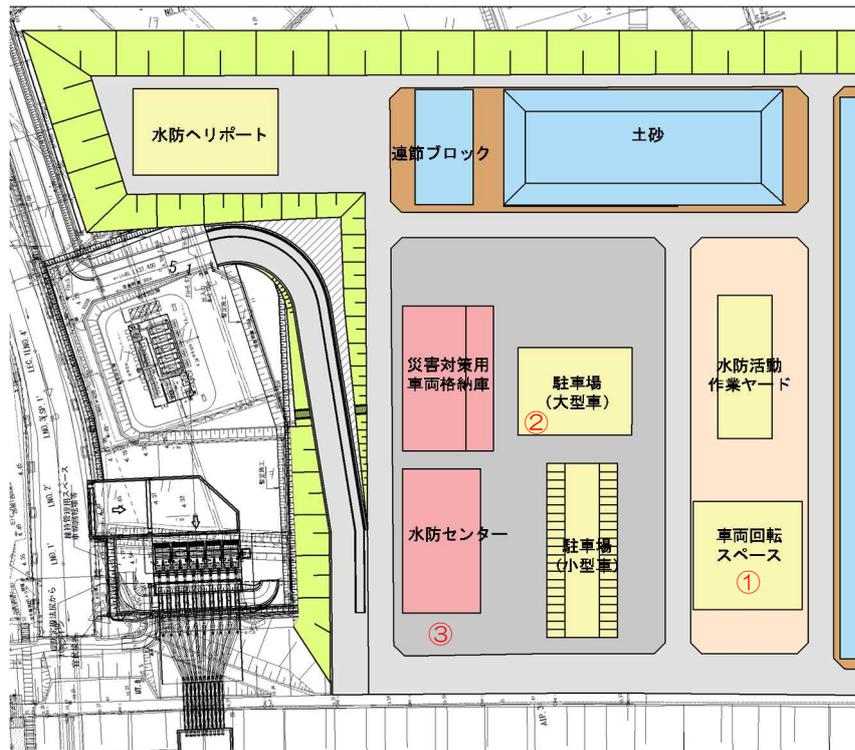
平常時：3×3（スリー・パイ・スリー）の練習（ゴールは可動式）



パークドーム熊本ホームページ
<https://www.kspa.or.jp/archives/s3/10126/>

水防センター前（地点番号：③）

平常時：水飲み場、ベンチがあり、サイクリストが休憩できる



5-3. 具体の利活用展開イメージ

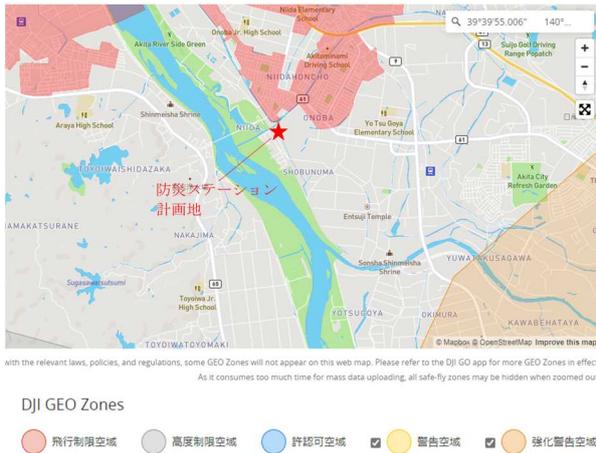
(1) ドローン飛行練習場としての活用

①防災ステーションの周辺はドローン飛行禁止区域

ドローンは、人口集中地区である防災ステーション近隣が飛行禁止区域となっている。また、秋田市の都市公園条例により公園内でもドローンが禁止されている。

②ドローン飛行体験が行われるなど高まるドローン飛行場ニーズ

四ツ小屋地域元気づくり協議会がドローン飛行体験を実施するなど、まちなかで飛行ができないなか、ドローン飛行場のニーズは高まっている。



DJI GEO Zones
 ● 飛行制限空域 ● 高度制限空域 ● 許認可空域 ● 警告空域 ● 強化警告空域

出典：安全飛行フライトマップ <https://www.dji.com/jp/flysafe/geo-map>

図 4 検討対象区域



出典：四ツ小屋地域元気づくり協議会ホームページ <http://yotugoya.net/event.html>

図 5 四ツ小屋シンポジウムチラシ

③会議室を活用した学科講習、駐車場等の平場を活用した実技講習

秋田市内や近隣で会場を探しているドローンスクールを誘致し、水防センターの会議室を学科講習の会場に、防災ステーションの駐車場等の平場を実技講習の会場としたドローンスクールとしての活用を検討する。



出典：JUIDA 東日本ドローンスクールホームページ https://www.east-japan-drone.com/akita_details/

図 6 ドローン学科講習のイメージ



出典：JUIDA 東日本ドローンスクールホームページ https://www.east-japan-drone.com/akita_details/

図 7 ドローン実技講習のイメージ

(2) イベント会場としての活用

防災ステーション計画地は、秋田市四ツ小屋地域の活性化を目指し、都市と農村漁村の人々が交流するための取り組みや、農村、漁村で暮らす人々が引き続き住み続けるための取り組みを行っている四ツ小屋地域元気づくり協議会の活動地域である。

四ツ小屋地域元気づくり協議会では、せせらぎ市、シンポジウムなどのイベントを行っており、これらイベントの会場として防災ステーションの活用を検討する。



<せせらぎ市（野菜販売）の様子>



<せせらぎ市（マジックショー）の様子>



<なべこの様子>

第4回 まちなかサロン in 四ツ小屋 牛島

開催日時 令和4年12月10日(土) 13:00~15:00 (受付12:30~)

今回のテーマは 地域 × 交流

★ゲストからのメッセージ★
 四ツ小屋地域元気づくり協議会 会長 川村 良喜 氏
 地域産業である農業振興と近郊都市部住民との交流を目的とする野菜販売のせせらぎ市を開催し地域住民及び観光住民が「いきがい」をもって、冬の旅に付き添われるための方策を探索・実践する活動を行っています。

★ゲストからのメッセージ★
 牛島第六丁目町会 会長 高橋 信好 氏
 町内会活動の中で重要な行事でもある子ども会とのコラボ活動があり、様々な行事での地域住民との交流と子ども達の成長が楽しみです。子ども達の元気な姿、笑顔が家で。今後ともこうした活動、行事を継続していきます。

2人の講師から活動紹介を見た後は、クリスマスぴったりのイルミネーション小物を作ります!!

会場は、秋田市南西部市民サービスセンター「なんびあ」

<まちなかサロン開催チラシ>

出典：四ツ小屋地域元気づくり協議会ホームページ <http://yotugoya.net/event.html>

図 8 四ツ小屋地域元気づくり協議会が開催するイベント

(3) サイクリスト、散策者の休憩場所としての活用

防災ステーション計画地に隣接する堤防天端は、仁別雄物川自転車道沿道に位置づけられていることから、サイクリストや散策者に利用されている。水防ステーションは、屋根や水飲み場のある休憩スペースがあり、トイレも利用できる休憩場所としての活用を検討する。



コース出典 : <https://tabi-rin.com/>

図 9 仁別雄物川自転車道

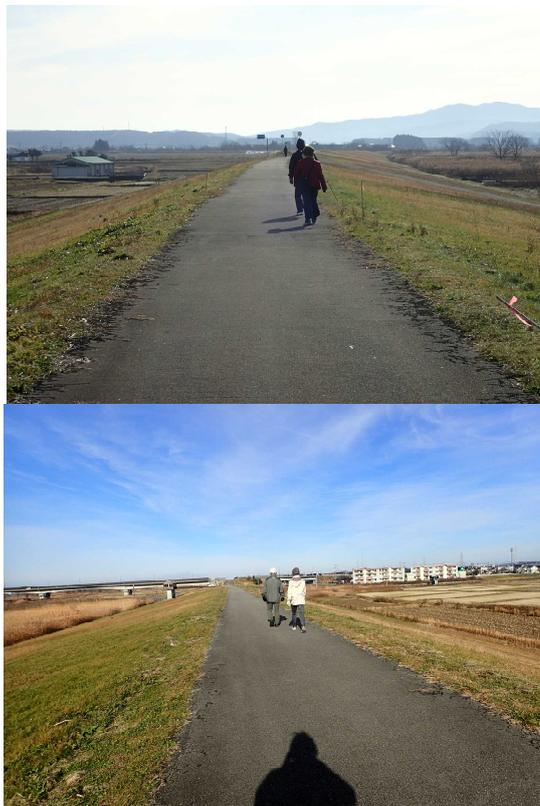


図 10 堤防天端を散策する人の様子